

## 広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

## コメント

## 1.ヘルパンギーナ

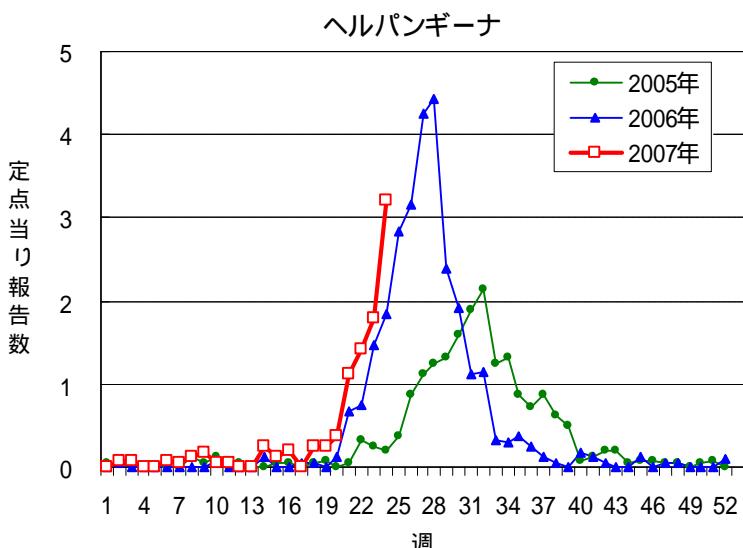
定点当たり3.21人と増加しており、例年同時期と比べてかなり多くなっています。安芸区では13.0人と特に多く、南区4.0人、中区、東区、西区ともに3.3人となっています。

## 2.麻しん(成人麻しんを除く)

2人(定点当たり0.08人)報告されています(南区、佐伯区各1人)。いずれも6~11か月)。第19週以降報告が続いている。

## 3.成人麻しん

1人報告されています(15歳)。今年の累計は4人となりました。



## 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	1	0.03	0.14		麻しん(注3)	2	0.08	0.02	
咽頭結膜熱	16	0.67	0.55		流行性耳下腺炎	5	0.21	1.33	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.25	1.58	↑↑	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	129	5.38	4.68	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	50	2.08	2.48	↑↓	流行性角結膜炎	3	0.38	0.65	
手足口病	12	0.50	4.00		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	7	0.29	0.47		無菌性髄膜炎	-	-	0.34	
突発性発しん	22	0.92	1.00		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.40	
百日咳	-	-	0.07		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻しん	1	0.14	-	
ヘルパンギーナ	77	3.21	1.60	↑↑					

急増減	↑↓	↑↓	前週と比較しておむね1~2以上の増減
増減	↑↑	↑↑	前週と比較しておむね1:1.5~2の増減
微増減	↑↑	↑↑	前週と比較しておむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当たり)

(注2)鳥インフルエンザを除く

(注3)成人麻しんを除く

(注4)オウム病を除く

## 1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2 結核		8	46	男性(10歳代)1人、男性(20歳代)1人、女性(20歳代)1人、女性(30歳代)1人、女性(60歳代)1人、女性(70歳代)1人、女性(80歳代)2人
5 アメーバ赤痢		1	3	男性(50歳代)

## 5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

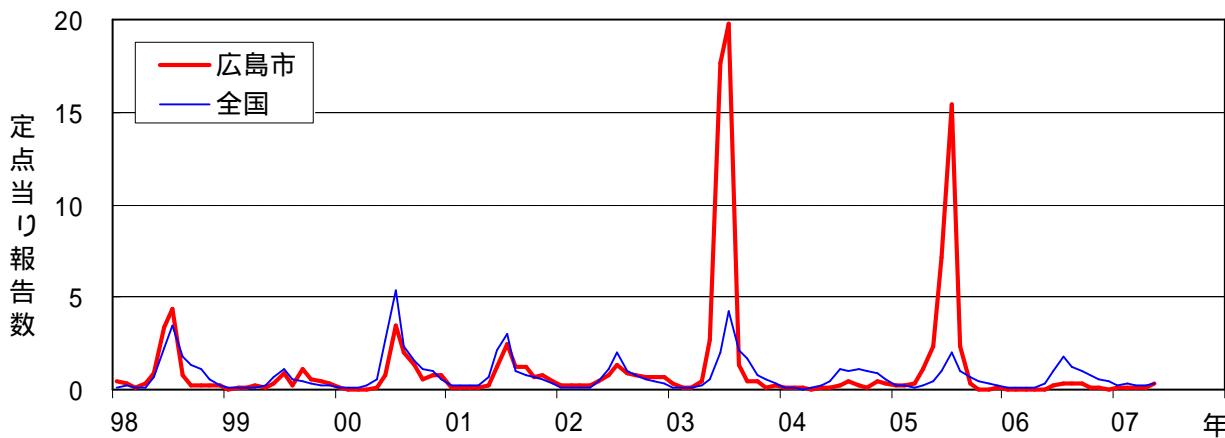
		インフルエンザ (注1) 咽頭結膜熱 球菌溶性胃腸炎 咽頭炎 レンサ球菌感染症 A群溶性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん 百日咳 風しん ヘルパンギーナ 麻しん (注2) 流行性耳下腺炎 RSウイルス 感染症 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性結膜炎 無菌性結膜炎 マイコプラズマ 肺炎 (注3) クラミジア肺炎 成人麻しん																					
報告数	第20週	19	8	32	140	60	11	10	19	-	1	9	6	6	-	-	1	-	-	4	-	-	
	第21週	7	5	62	162	60	6	10	19	-	-	27	3	5	-	-	1	11	-	-	8	-	-
	第22週	3	7	48	135	58	9	1	14	-	1	34	3	8	-	-	7	-	-	5	-	2	
	第23週	-	14	31	124	41	11	7	23	-	-	43	2	8	-	-	8	1	2	5	-	-	
	第24週	1	16	54	129	50	12	7	22	-	-	77	2	5	-	-	3	-	-	2	-	1	
定点当たり	第20週	0.51	0.33	1.33	5.83	2.50	0.46	0.42	0.79	-	0.04	0.38	0.25	0.25	-	-	0.13	-	-	0.57	-	-	
	第21週	0.19	0.21	2.58	6.75	2.50	0.25	0.42	0.79	-	-	1.13	0.13	0.21	-	0.13	1.38	-	-	1.14	-	-	
	第22週	0.08	0.29	2.00	5.63	2.42	0.38	0.04	0.58	-	0.04	1.42	0.13	0.33	-	-	0.88	-	-	0.71	-	0.29	
	第23週	-	0.58	1.29	5.17	1.71	0.46	0.29	0.96	-	-	1.79	0.08	0.33	-	-	1.00	0.14	0.29	0.71	-	-	
	第24週	0.03	0.67	2.25	5.38	2.08	0.50	0.29	0.92	-	-	3.21	0.08	0.21	-	-	0.38	-	-	0.29	-	0.14	
全国	第22週	0.57	0.46	2.60	6.23	2.35	0.45	0.78	0.74	0.02	0.01	0.42	0.07	0.53	0.03	0.85	0.01	0.03	0.47	0.03	0.14		
	第23週	0.36	0.56	2.56	6.06	2.14	0.58	1.02	0.76	0.02	0.01	0.59	0.07	0.49	0.03	0.83	0.01	0.05	0.48	0.02	0.11		

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヒトメタニーモウイルス感染症(疑)	1	女	2007/05/26	咽頭拭い液	ヒトメタニーモウイルス
咽頭結膜熱	1	男	2007/05/01	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
咽頭結膜熱	1	女	2007/05/05	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
感染性胃腸炎	3	男	2007/05/03	糞便	アストロウイルス-NT
麻しん	1	男	2007/04/15	糞便 尿 鼻汁(拭い液)	麻疹ウイルス

## 参考】手足口病の最近10年間の発生動向 (2007年5月まで)



(注)このグラフの縦軸は、月別定点当たり報告数の1週当たり平均値を示しています。

手足口病は、コクサッキーA16型やエンテロウイルス71型などのエンテロウイルスを原因とする疾患で、幼児を中心に主に6月～8月の夏季に流行します。流行の大きさは年によってかなり異なり、広島市では2003年以降、大きな流行の年とほとんど流行がみられない年を交互に繰り返しています。このパターンから推測すると今年は流行する年にあたりますが、今のところ報告数はそれほど多くありません。しかし、流行期を迎えて今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。  
なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)